

原油急落、ロシアとサウジは原油安で生産可能と表明し供給過剰に長期化懸念

- 産油国の協調減産で交渉決裂、ロシアが減産に反対
- WTI原油価格は一時30米ドル割れ、2016年2月以来
- ロシアは25-30米ドル、サウジは30米ドルで生産可能と発言

■ 協調減産の決裂で原油急落、米HY債に懸念

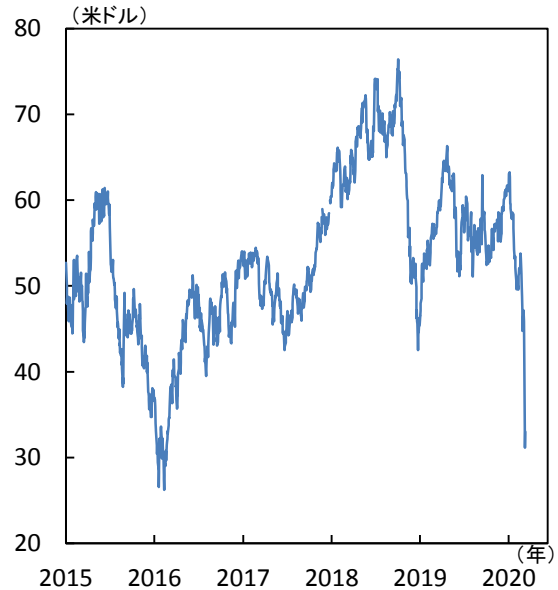
産油国の協調減産決裂を受け、原油価格が急落しています（図1）。WTI原油先物は2016年2月以来となる30米ドルを一時割り込みました。同水準を割り込むと米シェール企業の資金繰りが厳しくなり、米国ハイイールド（HY）債市場への影響も懸念されます（図2）。

■ 原油安でも生産可能、供給過剰は長期化か

決裂の背景は、減産によるシェア低下を嫌気するロシアと石油公社アラムコの上場もあり原油高を維持したいサウジアラビアで思惑にずれが生じたためとみられます。原油価格急落後も、ロシアは25-30米ドル、サウジアラビアは30米ドルでも生産可能との見通しを示しており、供給過剰が続く懸念が高いとみています。当面は6月9日のOPEC総会や早期の交渉再開、新型肺炎の沈静化による原油需要回復で反転できるか注目です。（永峯）

【図1】 OPEC前の3月4-9日で原油価格は33%下落

WTI原油価格



注) 直近値は2020年3月9日時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

【図3】 協調減産を進める間に米国は世界最大の産油国に

主要産油国の原油生産量(日量)



注) 直近値は2020年3月9日時点。1bpsは0.01%。
ICE US High Yield、及びそのEnergy Sub Indexを使用。対国債スプレッドは、国債とハイイールド債との利回り格差。

出所) ICE Data Indicesより当社経済調査室作成



注) 直近値は米国とサウジアラビアが2020年2月、ロシアが2020年1月時点。

出所) Bloombergより当社経済調査室作成

本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJ国際投信戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJ国際投信が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。
- ICE BofAML US High Yield Indexは、ICE Data Indices, LLC、ICE Dataまたはその第三者の財産であり、三菱UFJ国際投信は許諾に基づき使用しています。ICE Dataおよびその第三者は、使用に関して一切の責任を負いません。



三菱UFJ国際投信

三菱UFJ国際投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会